

この活動は、内閣府が推進している「子供・若者育成支援強調月間」にあわせ、非行・被害の防止と子ども・若者育成支援への関心を高めるために行っています。

## J JR 衣笠駅周辺

11月9日  
衣笠・池上中学校校区共催  
参加52名(中学生32、推進員11、その他9)



## の YRP 野比駅周辺

11月9日  
野比・長沢・北下浦中学校区共催  
参加44名(中学生20、推進員16、その他8)



どんよりとした曇り空の下、9時半集合で準備開始

## 非行防止 キャンペーン!

電車やバスから次つぎと下車する人たちを横目に、はやる気持ちを抑えながら準備を進め、10時キツカリに「さあ始め」と意気込んだりとたん、ぱたりと通行人が途絶えてしま

いました。手持ち無沙汰に3、4人で改札口を行ったり来たりなかなか配り終えない生徒に「あそこで配っては？」と声をかける一幕も。そうこうするうちに声も大きく出て、スムーズに配布できるようにになりました。中学生にとっては試験だったかな?と思いつつも、これの一つの経験として成長して欲しいと願うキャンペーンでした。(芦澤雄一)

## く 京急久里浜駅周辺

11月16日  
久里浜・神明中学校区共催  
参加39名(中学生11、推進員13、その他15)

雲一つない快晴、青少年育成活動の青いのぼり旗が風になびいていました。生徒会選挙の真っただ中、集まってくれた生徒たちは

「去年も来た」初めて参加しました。などと話してくれました。



注意事項を聞き、集合写真撮るとすぐ、配布物を片手に、走って人ごみに向かう生徒たちは、見ているもしい限りでした。一方、歩いてくる人を、避けたり、見送ったりしてしまふ生徒もいましたが、推進員が一緒になつて呼びかけると、だんだん声と手が出るようになり、配布物を受け取ってもらえると、笑顔を見せるようになりました。

この日は『久里浜食の祭典』で人出が多かつたことと、祭典主催



者が「久里浜中学」と神明中学の生徒さんが、非行防止の

## き 北久里浜駅周辺

11月16日  
大矢部・公郷・岩戸中学校区共催  
参加56名(中学生31、推進員12、その他13)



キャンペーン活動をしていきます」と援護射撃してくれたこともあり、一時間足らずで終了しました。(岡田安司)

## う 浦賀駅周辺

11月16日  
浦賀・鴨居中学校区共催



## た 京急田浦駅周辺

11月16日  
田浦中学校区主催  
参加23名(中学生2、推進員9、その他12)



## A 武山Aコープ周辺

11月16日  
武山中学校区主催  
参加73名(小中生50、推進員7、その他16)



参加51名(中学生22、推進員13、その他16)



# 第14回 中学校対抗ウォークラリー大会 in 坂本中学校区

2019年 12月14日 (土)

## ようこそ!! わんぱくフェスティバル in 神奈川県立保健福祉大学

2019年 11月10日 (日)



**総合第1位**  
大津中Bチーム!  
平均タイムに合わせるために皆で走ったこと、やる気がすごかったこと。  
大変だったけど、階段で休憩したからベストな時間になった。印象に残ったのは輪投げで、0点だったけど、皆で笑えた。皆で色々と積極的に観察したので、簡単に答えられた。メンバーは生徒会

**ラリー部門1位**  
神明中Bチーム!  
昨年の平均タイムを参考に時計を何度も見ながら合わせたこと。道に迷わなくて良かった。坂や階段が多かったけど景色が良くて感動。メンバーは生徒会

**クイズ部門1位**  
大矢部中Cチーム!  
細かい所に観察力を集中させたこと。横須賀の色々なことを学んで大変勉強になったし、1位になって良かった。メンバーは駅伝部

**ゲーム部門1位**  
公郷中Aチーム!  
トコトン楽しんで、1位になって良かった。メンバーは生徒会

**大会ポスター受賞者**  
神明中 中野遥さん!  
感想をお願いします。  
昨年選ばれたことが嬉しくて、今年も描きました。去年「人物(おりょうさん)」を描いたのが選ばれた理由と思い、今年は(三浦按針)を描きました。三年連続受賞をめざして、来年も頑張ります。



横須賀駅前を抜け、清橋交差点を過ぎ、吉倉に続くトンネルをずんずん進んでいきます。

トンネルの次は、1、2、100、150、200段の階段!

最後の急坂を登って塚山公園に到着。ゲームポイントです。

ヴェルニー公園で遊ぶんだり、先を急いだりと様々です。

どぶ板通りでクイズを解きながら、米軍横須賀基地の前を通って、ヴェルニー公園を目指します。

長い階段を降り、西逸見公園、鹿島神社を通って、カレーライスのいい匂いに迎えられ、逸見小学校にゴール。

急坂往復ガチャ玉探し。中に入った得点を競います。スカ! が出るとやり直し(泣)

大縄跳び



楽しい時間は、あっという間に過ぎ、実行委員長の閉会のあいさつの後、大盛況のうちに無事終了しました。スタッフの皆さま、お疲れ様でした。(小島栄子)

当協議会のチョコバナナと紙ヒコキ作り、大人気でした!

屋外ステージでは市立総合高校の書道パフォーマンスとダンスが、フェスティバルを華やかに締めくくりました。

屋内ステージでは、不入斗中吹奏楽部の演奏に始まり、体操、ケン玉、キッズダンス、フラダンスと、素晴らしい演技が次々と披露され、最後は横須賀学院吹奏楽部のYMC Aで幕を閉じました。

ポーン! 祝砲のようなポン菓子機の音が聞こえ、屋外ステージでは、陽気な中南米音楽、サックスカルテットの演奏が続き、会場も親子連れや学生で賑わってきました。

バラバルーンには、沢山の子どもたちが飛び入り参加し、さんぽに合わせて可愛いパフォーマンスを見せてくれました。

他にもマジックショー、魚釣り、くじ、ぬり絵、折り紙、傘袋ロケット、ケン玉、ジュニアリーダーズとの楽しい遊びに、おもちの病院などなど。

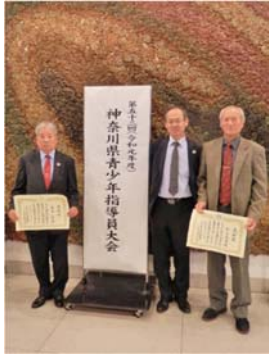




## 青少年と地域、 未来を共に！

◆ 第52回神奈川県青少年指導員大会  
11月9日(土)  
◆ 県立青少年センター・ホール  
◆ 横浜 DeNA ベイスターズチアースクールのオーブニング演技で始まり、表彰式、指導員活動事例発表、講演が行われました。

表彰式では、わが横須賀から大矢部中学校区の蓮池昇さん、久里浜中学校区の杉山政男さんの両名が表彰されました。  
お二人は永年にわたり、地域、協議会の青少年育成活動において、中心的役割を果たされてきたことが、表彰に値するとされました。おめでとございました。



### 【お二人の談話】

地域活動をしているうちに、子どもたちとのふれあいが楽しく思い、成長を見守っていくことが、地域の一員としての役目と考えるようになった。

## 令和元年度 当協議会主催行事

◆ 「野外研修会」  
推進員の視野を  
広げるために！  
10月6日(日)  
◆ 浦賀港周辺



「活動体験発表会」  
私たちの活動体験を  
聴いてください！

◆ 2月8日(土)  
◆ 横須賀市立青少年会館  
〜 武山中学校区〜  
◆ BMS活動(Blue Mates Staff) 青少年

の青を使って地域の中学生が発案した造語。約15年前に発足。目的は中学生に地域活動のサポートをしてもらうこと。今では町内会の様々な活動に中学生が参加しており、その活動を見た小学生が「中学生になったら入りたい」と言うようになっていくそうです。この活動の良



さや成果として、地域の人が見知りになることが挙げられていました。あいさつのできる大人が子どもたちの身近にいることで、町の安心安全につながっていると考えられます。

6月のじゃがいもほりと7月の七夕飾りの2大イベントが紹介されました。  
これらは多くの人々が参加する活動で、年間計画を立てる段階から、体育振興会やPTAもかわっているそうです。また、活動を続けていくためには、町内会の結束が大切であると締めくくられていました。

子どもたちのふるさとづくりを目標に活動を行っており、7月には子ども映画会を独自企画として実施しているそうです。この映画会は、子どもたちに戦争について考えてもらう内容のものとして、二本立てにしているそうです。

「推進員としても親としてもうれしかったことは、自分子どもが地域の大人の名前を覚えていくこと」とのお話で、地域のつながりは、まずはあいさつ、そして



子どもたちのふるさとづくりを目標に活動を行っており、7月には子ども映画会を独自企画として実施しているそうです。この映画会は、子どもたちに戦争について考えてもらう内容のものとして、二本立てにしているそうです。

## ゆつやけこやけ 〜ルールを守りましょう〜

市の新しいごみ焼却施設の本格稼働に伴い、令和2年1月6日から「ごみと資源物の分け方・出し方」が変更になりました。  
しかし、分別が不十分、ペットボトルのフタとラベルが除去されていない、指定日以外の日にゴミ出しするなど黄色いシールを貼られたり、ゴミネットの外に出して猫やカラスに荒らされたり、市で回収できない電化製品や布団・カーペットなどの粗大ゴミで青い(資源不適物)シールを貼られたり、回収されないケースも多々見受けられます。  
きれいで気持ちの良い横須賀市にするために、ルールを守ってゴミ出ししましょう。ちなみに私は、市の職員でもOBでもありません。(K・S)

て相手の名前を覚えることなのだど気づかされました。

「講演会」  
子どもを叱れない  
大人たちへ

◆ 2月8日(土)  
◆ 横須賀市立青少年会館  
落語家の桂才賀さんをお招きし、ご講演いただきました。

「落語の発祥は、どこだかご存じでしょうか？」落語はそもそもお寺の説法でしたがつて落語には、教訓や戒めが入っているそうです。



「怒ると叱るとの違いをこ存じでしょうか？」怒るとは、自分の感情や都合で注意すること。一方、叱るとは、愛をこめて注意することです。

子どもに注意するとき、叱っているか、怒っているか、まいかを意識することの大切さを気付かせていただけると、大変ためになる講演でした。

## 編集後記

本紙は、青少年育成団体や、地域連絡会及び、中学校区などの事業や行事を取材した広報部会員全員の思いが詰まった自信作です。今後も、活気ある広報紙作りに努めて行きますので、ご期待下さい。(K・B)